

令和 7 年 2 月 21 日

令和 6 年度学校評価について

1 学校関係者評価委員会・信頼される学校づくりのための委員会について

(1) 開催場所 本校会議室

(2) 出席者 17人

ア 学校関係者評価委員 5人

会社代表取締役，中学校長，同窓会副会長，PTA副会長，地域住民代表

イ 学校側出席者 12人

校長，教頭（2人），事務長，教務主任，進路指導主任，生徒指導主任，保健主任，
1 学年主任，2 学年主任，3 学年主任，教務係（記録）

2 第 1 回委員会について

(1) 日時 令和 6 年 6 月 6 日（木） 15：00～16：30

(2) 出席者 17人

(3) 会 順

ア 授業見学

イ 委嘱状交付

ウ 開会のあいさつ（校長）

エ 出席者紹介（委員自己紹介，職員紹介）

オ 学校概要説明

- ・ 学校関係者評価委員会について
- ・ 学校経営の概況
- ・ 各部・各学年から

カ 信頼される学校づくりのための委員会について

キ 質疑応答

ク 閉会の言葉（教頭）

3 第 2 回委員会について

(1) 日時 令和 6 年 11 月 5 日（火） 15：40～16：40

(2) 出席者 17人

(3) 会 順

ア 開会のあいさつ（校長）

イ 活動報告（生徒発表）

ウ 各部・各学年から中間報告

エ 信頼される学校づくりのための委員会

オ 質疑応答

カ 閉会の言葉（教頭）

4 第3回委員会について

- (1) 日 時 令和7年2月20日 15:40～16:45
- (2) 出席者 17人
- (3) 会 順
 - ア 開会のあいさつ（校長）
 - イ 職員・生徒・保護者アンケート結果報告
 - ウ 各部・各学年から来年度のに向けて
 - エ 信頼される学校づくりのための委員会
 - オ 質疑応答
 - カ 閉会のことば（教頭）

4 委員による評価

評価項目	十分に達成している	おおむね達成している	やや不十分である	不十分である
本年度の教育目標の達成状況について	2人	3人		
学校の自己評価の具体的目標及び具体的方策の達成状況について	3人	2人		
次年度への主な課題の把握について	1人	4人		
改善策等の策定について	1人	4人		

5 委員による意見等

- ・ 既に様々な取組を行っていると思うが、生徒の多様な価値観を受け入れ、進路のみならず学校生活においても、それぞれの個性が活かされる環境が望ましい時代であるように感じる。
- ・ 地域の中で生徒たちを見守っています。制服を着用しているときは、学校の顔であるという自覚を生徒ひとりひとりが持つべきである。年々多様化する変化に追いつくことを自らに言い聞かせてはいるが、時に注意すべき姿の生徒を見かける。
- ・ デジタル化、A T化は便利で有効な面が多いと感じるが、デメリットの面があまり表に出されないように感じる。そのあたりの対応がどうなっているのか。
- ・ 多くの生徒確保によるさらなる格式ある加治木高校の発展にご尽力下さい。
- ・ 先生方の取組、頑張りに心より感謝いたします。時代が厳しくなっていますが、共に魅力ある学校づくりに尽力したい。